

1月24日投票、東海村議選

いのち・平和が一番 福祉とくらしを守ります

「まさかこんなことになるとは思わなかった」とふつうのママや若者、お年寄りが、自から立ちあがっています。

安倍政権は、安保法制＝戦争法を強行採決しました。戦争になれば、地方自治体は、日米防衛協力指針によって、真っ先に協力を「要請される」となっています。私は、野党協力を広げ、政権交代をめざしてがんばります。

東海第2原発は、再稼働せず廃炉事業における技術・研究で、雇用を守るよう求めます。

あたたかい福祉とくらしを大切にする東海村をめざして力をつくします。



日本共産党
議会議員

川崎 あつ子

プロフィール ■1953年十王町生まれ。高萩高校卒業後、日立電線日高工場に勤務。
■県視覚障害児(者)親の会会長、県立盲学校PTA会長、東海村男女共同参画条例検討委員、まちづくり委員会福祉部会委員などを歴任 ■東海村議2期 ■家族は夫 ■白方在住 ■ツイッター・フェイスブック(川崎あつ子で検索)

1 戦争法「廃止」へ共同

一致する野党で「国民連合政府」を

日本共産党は、戦争法が強行された九月十九日に、「戦争法廃止の国民連合政府提案」を発表しました。
日本共産党の「提案」は、
①戦争法廃止、安倍政権打倒のたたかいをさらに発展させる。
②戦争法廃止で一致

するすべての政党、団体、個人が共同して「戦争法廃止の国民連合政府」をつくる。
③政権合意した野党が選挙協力を行うことを呼びかけたもので、これまでにない反響が寄せられています。
日本共産党「携帯ページ」



12万人が参加した「戦争法案反対・安倍内閣退陣 8.30国会前大行動」
(日本共産党ホームページより)

2 住民犠牲許さず

願い実現に全力

村は、国による介護保険や子育て支援制度の改悪内容を取り入れ、これまで村独自でおこなってきたサービスを後退させてしまいました。

来年度も、さらに公的責任を後退させ、

村民に負担を強いる政策を強行しようとしています。(下表)

日本共産党の川崎あつ子議員は、くらしをしつかり支え、願い実現に全力をつくします。

住民負担の数々

【2015年度実施】

- 介護保険在宅サービス利用料助成の廃止
- 介護保険在宅サービス食事費助成の廃止
- 後期高齢者医療保険料助成の廃止
- 村松宿こども園給食調理業務の民間委託
- コミセン利用料の減免制度見直し

【2016年度実施予定】

- 白方小の給食調理業務の民間委託
- 百塚保育所調理業務の民間委託
- 公立幼稚園保育料の引き上げ
- 学童保育事業への民間委託の導入
- 村立学童保育保育料の引き上げ
- 国民健康保険税の引き上げ

3 東海第二原発の再稼働ストップ

日本共産党東海村委員会がおこなったアンケート(今年五月実施)で、東海第二原発の今後について、五割の方が「廃炉にする」と答えています。また、多くの方が「原子力災害対策」を村政に求めています。

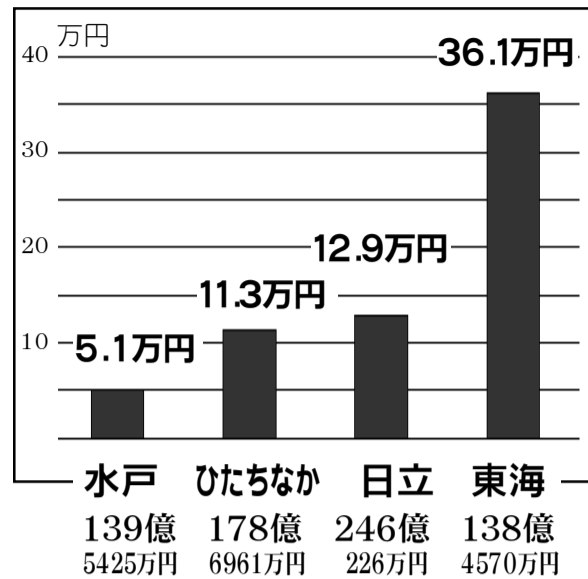
日本共産党の川崎あつ子議員は、老朽化している東海第二原発の再稼働中止を求めています。

東海第2原発の再稼働ストップ・廃炉こそ、村民のいのちと暮らしを守る保障です。

県内一の ためこみ金

138億円は くらし応援に

1人当たりのためこみ金額



これまでに村がためこんだお金は、何と138億円。1人当たりの額は水戸市の約7倍、ダントツ県内一位です。しかし村は、コミセン利用の減免制度を見直し実質有料化や、住民サービスを削るなどの村政に大きく転換させました。「くらし支援を続けてほしい」…これが村民の率直な思いです。

日本共産党は、ため込み金の一部を使ってくらし応援の政治をめざします。

ためこみ金のほんの一部を使えば、すぐに実現

くらし

■ 国保税の1世帯1万円引き下げ

「高くて払いきれない」と悲鳴があがっています。1世帯1万円の引き下げを求めます。約5,000万円あれば実現できます。

■ 介護保険の利用料・食事費助成の復活

「村長が変わったら、たちまち助成策が廃止」。くらしの応援に逆行しています。廃止(約7,100万円)された助成策を復活させます。

子ども 支援

■ 子どもの医療費無料化を高校卒業まで

県内でも常陸太田市や大子町などで高校卒業までの医療費助成が実現。東海村でも実施して、子どもの健康を守ります。約2,000万円あれば実現できます。

■ 小中学校の給食費無料化、エアコン設置

子どもは村の宝です。子どもたちがすこやかに成長できるよう、小中学校の給食無料化、エアコン設置を求めます。給食無料化は約1億7,600万円、エアコン設置は約3億円あれば実現できます。

■ 公立幼稚園・学童保育料の値上げストップ

少子化対策の一つは、子育て支援の充実です。計画されている幼稚園・学童保育料値上げをストップさせ、父母の願いに応えます。合わせて約3,100万円あれば実現できます。

明るい 村政

■ 人間ドックで健康な村づくり

村立東海病院・村内医療機関と保健行政が一体となった健康増進をすすめます。人間ドック(35歳以上)への助成をはかり、早期の発見・予防につとめます。約1億5,000万円あれば実現できます。

■ 正規職員が当たり前の村政をめざして

保育所では45%、図書館では73%が非正規職員です。正規職員化をめざして、雇用の安定と、ゆきとどいた村政をつくります。

アベ暴走政治 と対決

日本共産党村議団は、戦争法(安保法制)廃止、原発再稼働ストップなどの請願に一貫して採択を主張。

アベ暴走政治を許さぬ先頭に立ちました。日本共産党の2議席こそ、平和とくらしを守る議席です。

引き続きがんばります



日本共産党の2議席でいのち・くらしを守ろう